

地区福祉のまち推進センターの主な活動

※活動内容は、各地区によって異なります。

ふれあい交流活動

地域の人に交流を深めてもらおうと、入浴ツアーや音楽会など、さまざまな交流行事を開催しています。地域の人が地区会館などに気軽に集まって仲間づくりをすることができる「ふれあい・いきいきサロン」は、交流を深められるだけでなく、閉じこもりの防止にもつながると、多くの市町村で取り組まれています。



北東白石地区で3月に開催された「ふくまちなさわやか交流会」。参加者みんなで体操をするなどして交流を深めました。



昨年11月に東札幌地区で行われた配食会「ふれあいお楽しみ弁当」の様子。心を込めて手作りしたお弁当を、一人暮らしのお年寄りにお届けしました。



菊水地区で3月に開かれた「新春お笑い寄席」では、桂枝光さんの落語（写真上）とお笑いコンビ「プレゼンテーブル」の漫才（写真下）に、会場は大笑い。



参加した地域の人たちは楽しく交流することができました。

菊の里地区で4月に開設した子育てサロン「わくわくポケット」。同地区では、地区福祉のまち推進センターを中心とした地域のネットワーク組織の取り組みとして、子育て支援にも力を入れています。



日常生活支援活動

電話や訪問、点灯・消灯を確認することなどによる安否確認のほか、買い物、ごみ捨てなど簡単な家事の援助を行っています。

調査活動

住民のニーズに合った活動を行うため、生活のどのようなことに不安を感じているかなどについてアンケート調査を実施しています。

広報・啓発活動

各地区でそれぞれ広報誌やチラシを作成し、各戸に回覧したり配布したりしています。また、ポスターの掲示やパンフレットの配布による啓発活動も行っています。

学習・研修活動

ボランティア講座や、介護講習会などを開催し、福祉に関する知識や技術の向上に役立てています。

子育て支援活動

子育て中の親子の交流を目的に子育てサロンを開催し、子育てに関する情報交換や相談の場として活用されています。

あなたも
地域とつながりを

地域の多くの方が福祉のまち推進センターの活動に参加することで、身近な問題に光をあてることができるだけではなく、より充実した住民同士の支え合いが可能になります。福祉のまち推進センターがさまざまな活動を展開していくためには、地域の方々の理解と協力が不可欠です。

「高齢の方や障がいのある方など、生活に不安をもっている人たちのお手伝いをしてみよう」。こんな気持ちを住民一人一人が持つことで、みんなが安心して暮らせるまちづくりが進みます。

皆さんも気軽に参加して、地域の人との交流を深めることから始めてみませんか。

福祉のまち推進センターについてのお問い合わせは
◎白石区社会福祉協議会
(本郷通3丁目南4-12
ふれあい会館内)

☎(861)3700